

市民アンケート調査票

本アンケートで示している取り組みの一例は、現時点で実施が確定したものではなく、皆さんのご意見を伺うための「素案」として整理したものですので、その旨、ご了承ください。

※別冊の「本市のまちづくりや公共施設マネジメントの取り組みのご紹介」をご覧くださいの上、ご回答をお願いいたします。

ご回答いただいた本票（アンケート調査票のみ）は、

4月22日（月）までに、Logo フォームから回答（又は、資産活用・契約グループへ直接、FAX、配布している施設窓口）に提出でも可能

してください。



◆インターネット（スマートフォン）からご回答いただけます。

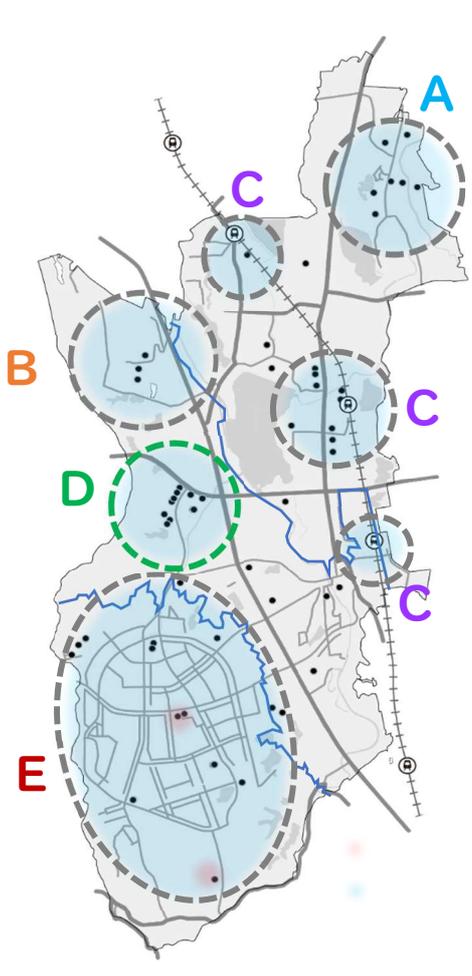
- ・左記のQRコードから回答フォームにアクセスできます。
- ・インターネットで回答された方は、書類での回答は不要です。

回答は1人1回としてください。

問1 取組みを進める上で、意見交換や情報共有の方法についてお尋ねします

第五次総合計画で示されているまちづくりの方向性(将来都市構造)と、エリアや拠点ごとに、現在立地している公共施設を整理すると以下のとおりです。

※本案は、実施が確定しているものではなく、ご意見をうかがうための「素案」として整理しているものです。



エリア	拠点やエリアの内容 (第五次総合計画)	エリア内の主な公共施設 (再配置方針対象施設)
A にぎわい・レクリエーション拠点	水とみどりのネットワーク上の拠点となり得るみどり空間として、市民が交流できる環境づくりを進めます。	市民ふれあいの里、旧狭山・美原医療保健センター、斎場など
B スポーツ・レクリエーション拠点	市民が利用しやすく憩える環境づくりを進めます。	総合体育館、市民総合グラウンド/山本テニスコート、野球場
C 駅周辺活性化エリア	人々が親しみ集える場となるよう整備を進めます。	子育て支援・世代間交流センター、消防署、市役所、 市役所庁舎南館 、文化会館 など
D 福祉・文化拠点	市民が利用しやすく集まりやすい環境づくりを進めます。	図書館、公民館、保健センター、老人福祉センター、心身障害者福祉センター及び母子・父子福祉センター、障害者地域活動支援センター、市史編さん所 など
E 狭山ニュータウン活性化エリア	関連計画に基づいた取組を進めるとともに、若年層の流入を促す視点で、住宅や土地の流動性を高める取組を進めます。	学校給食センター、ふれあいスポーツ広場、 子育て支援センター、コミュニティセンター 、消防署ニュータウン出張所、旧くみの木幼稚園 など

再配置方針において「短期に再配置(見直しや建替え)を想定する施設」に位置付けられている施設

短期(当面10年間)に再配置(見直しや建替え)を想定する施設のうち、特に著しい老朽化等が進行する施設がDエリアに集積しています。そのため、Dエリアの取組みを優先的に進めたいと考えています。

Dエリアの取組みを優先的に進めていくことを想定していますが、Dエリアの取組みを進めるにあたって、今後あなたが参加したいと思えるものすべてに○印をつけてください。

- 1 タウンミーティング(市長や、有識者を含めた意見交換)
- 2 ワークショップ(具体的にどのような施設にしたいか等をみんなで議論)
- 3 講演会・説明会(有識者や市の担当者からの講演・説明を受ける)
- 4 アンケート(市からの配布や、インターネットでの質問項目についての回答する)
- 5 その他()
- 6 どれも参加したいと思わない

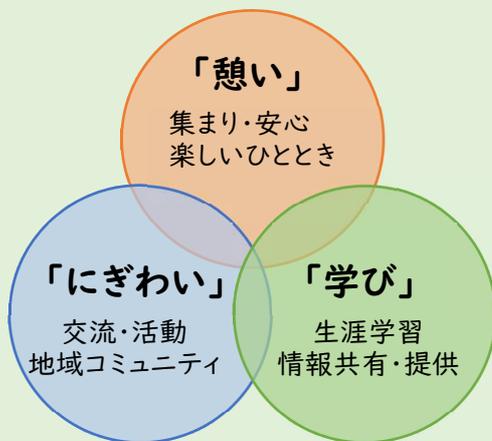
問2 Dエリアにおける将来像についてお尋ねします

※本案は、実施が確定しているものではなく、ご意見をうかがうための「素案」として整理しているものです。

第五次総合計画ではDエリアを「福祉・文化拠点」として設定し、市民が利用しやすく集まりやすい環境づくりを進めていくとしています。

【(案) 取り組みのイメージ】

第五次総合計画で設定した、「福祉・文化拠点」として、「憩い・にぎわい・学び」をコンセプトに、エリア一体での空間形成に向けて、既存の施設や機能（Dエリア以外の施設や機能を含む）の複合化や集約化、民間との連携、※交通結節点の設置などを視野に再配置の検討を進めます。



「憩い・にぎわい・学び」の空間づくり

※交通結節点：バス、タクシーなど交通手段の接続が行われる乗り換え拠点

Dエリアの現在の主な施設の立地状況



Dエリアの将来像についてお聞きします。

Dエリアやエリア周辺が将来どうなっていれば、利用したくなるかあなたの考えに最も近いものを3つまで選んで○印をつけてください。

- 1 建物の安全性が高く、災害時に避難できる
- 2 複数の施設が充実し、バス等交通手段があり、アクセスしやすい
- 3 建築物のデザイン・意匠性が高い
- 4 人が集まりにぎわいがある
- 5 ゆっくり過ごすことができる
- 6 様々な世代と交流できる
- 7 自分と同じ世代と交流できる
- 8 所属している団体等で使用できる空間(会議室や多目的室など)がある
- 9 一人で使用できる空間(仕事や自習など)がある
- 10 子どもを連れて楽しめる
- 11 イベント等が開催している
- 12 その他()

問3 Dエリアにおける取り組み(必要な機能)についてお尋ねします

※本案は、実施が確定しているものではなく、ご意見をうかがうための「素案」として整理しているものです。

表1 (取り組み(再配置)の一例)

「第五次総合計画」や、「(案)取り組みのイメージ」に基づき、Dエリアにおける取り組み(再配置)の一例として、表1のようなことも考えられます。

※複合化する機能の詳細については、施設の基本構想策定段階において検討します。

充実させる機能など(事業概要)	※複合化する機能の詳細イメージ
取り組みを進めるにあたっては、下記の機能の充実や、視点を考慮しながら、施設の建替え等に併せた効率的かつ効果的な再配置の検討を行います。 ・図書館機能 ・生涯学習支援機能 ・市民活動支援機能 ・子育て支援機能 ・保健機能 ・高齢者の生きがいづくり機能 ・障がい者活動支援機能 ・防災機能 ・各種機能融合による質や利便性の向上 ・民間との連携による新たな付加価値の創出 ・施設の複合化による維持管理費等の縮減 ・交通結節点の形成	一般・児童図書の貸出
	学習スペース
	会議室、団らん室
	ホール、ホワイエ(交流空間)
	貸室
	プラネタリウム
	多目的スペース
	スタジオ(音楽、創作、料理)
	シャワールーム、トレーニングルーム
	プレイルーム
	健康促進空間(健康相談、予防接種)
	各種事務所
	あそびの広場
	雨天利用可能な屋外空間
	癒し、くつろぎ広場
	商業サービス(施設内での飲食、物販)

Dエリアの今後の機能のあり方についてお聞きします。

今後、Dエリアの取り組みを進めるにあたって、あなたが充実させるべきと考える機能は以下のどれですか。あなたの考えに近いものを5つまで選んで、番号に○印を付けてください。

- 1 防災機能(災害時の避難所や防災活動に活用する場など)
- 2 交通結節点機能(バス、タクシーなど交通手段の接続が行われる乗り換え拠点)
- 3 図書館機能(図書の貸出、閲覧スペースなど)
- 4 生涯学習支援機能(相談、講座の実施、情報提供や自習室等の場の提供など)
- 5 市民活動支援機能(相談、活動の場、交流の場の提供など)
- 6 子育て支援機能(子育て相談、乳幼児の遊び場、親同士の交流ができる場の提供など)
- 7 青少年支援機能(放課後の居場所、学習機会の提供など)
- 8 保健機能(健康相談や予防接種など)
- 9 診療機能(休日診療、クリニックなど)
- 10 高齢者生きがいづくり機能(交流やクラブ活動、健康増進の場の提供など)
- 11 高齢者相談支援機能(介護、生活などの相談)
- 12 障がい者活動支援機能(活動の場の提供など)
- 13 障がい者相談支援機能(生活、くらし、福祉サービスの利用などの相談)
- 14 窓口機能(各種手続や行政相談)
- 15 飲食ができる機能(カフェや食堂など)
- 16 日用品等の購入ができる機能(コンビニやスーパーなど)
- 17 広場機能(芝生や花壇、ベンチや、散歩や休憩、屋外での活動ができる場の提供など)
- 18 多用途空間機能(イベント等の開催できる空間など)
- 19 その他 ()

問4 Dエリアの施設の利用状況についてお尋ねします

あなたは、Dエリアに立地する以下の施設を普段どのくらい利用しますか。施設ごとに「①利用頻度」から1つ選んで、番号に○印を付けてください。「①利用頻度」で「4」を選択した場合は、その理由を「②利用していない理由」から選んで（複数回答可）、番号に○印を付けてください。「②利用していない理由」で「7」を選択した場合は、その理由を「③」に記入してください。

以下の各施設について、 それぞれお答えください	項目	①利用頻度	②利用していない理由（複数回答可）
		(過去一年間で) 1: 週に1回以上 2: 月に1回以上 3: 年に数回程度 4: 利用していない →②へ	1: アクセスが不便 2: 施設自体を知らない 3: 利用時間や利用料金に不満 4: 設備に不満(古い、狭い等) 5: 他市や民間の類似施設を利用 6: 利用する機会がない 7: その他→③へ
(記入例)		1 2 3 ④	1 ② 3 4 5 ⑥ 7
ア) 保健センター		1 2 3 4	1 2 3 4 5 6 7
イ) 公民館		1 2 3 4	1 2 3 4 5 6 7
ウ) 図書館		1 2 3 4	1 2 3 4 5 6 7
以下の施設は、利用対象の方のみお答えください			
エ) 老人福祉センター(60歳以上)		1 2 3 4	1 2 3 4 5 6 7
オ) 障害者地域活動センター		1 2 3 4	1 2 3 4 5 6 7
カ) 心身障害者福祉センター及び 母子・父子福祉センター		1 2 3 4	1 2 3 4 5 6 7

③ ②利用していない理由で、「7 その他」を選択した理由をお聞かせください。

Dエリアまでの移動手段(徒歩以外)として使用しているもの(行かれたことがない方は想定で結構です)は何ですか。あてはまる番号に○印をつけてください(複数回答可)。

- 1 自家用車
 - 2 バス(路線バス、市循環バス(さやりんバス))
 - 3 タクシー
 - 4 原付・バイク等
 - 5 自転車
 - 6 その他()

最後に、あなたご自身についてお尋ねします

次の各項目について、該当するものをそれぞれ1つ選んで、番号に○印をつけてください。

(ア) 年齢	1: 16～19歳	2: 20～29歳
	3: 30～39歳	4: 40～49歳
	5: 50～59歳	6: 60～69歳
	7: 70～79歳	8: 80歳以上
(イ) 家族構成	1: ひとり世帯	2: 夫婦のみ世帯
	3: 二世帯世帯(親と子)	4: 三世帯世帯(親と子と孫)
	5: その他()	
①就学前の乳児・幼児	1: いる()人	1: いない
②小学生・中学生	2: いる()人	2: いない
(ウ) お住まいの小学校区	1: 東小学校区	2: 西小学校区
	3: 南第一小学校区	4: 南第二小学校区
	5: 北小学校区	6: 南第三小学校区
	7: 第七小学校区	
	★校区がわからない場合はお住まいの地区名をご記入ください () (例: 狭山1丁目)	
(エ) 居住年数 ※現住所でのお住まいの年数	1: 5年未満	2: 5～9年
	3: 10～19年	4: 20年以上

その他、本市の公共施設のあり方についてご意見がございましたらご記入ください。(自由記入)

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

ご回答いただいた本票(アンケート調査票のみ)は、

4月22日(月)までに、Logo フォームから回答(又は、資産活用・契約グループへ直接、FAX、配布している施設窓口に提出でも可能)してください。

